

校内研修パッケージ

『GIGA スクール構想』が学校にもたらすものとは」の活用について

令和2年10月2日
京都府中丹教育局

GIGA スクール構想によってもたらされるものは何か。また学校ではどんな準備が必要か。GIGAスクール構想実現後の環境で、ICT活用を学校全体で推進していくための第一歩として活用できるよう、校内研修パッケージを以下のように作成しました。GIGA スクール構想がスムーズに、そして効果的に実現していくよう、有効に活用いただければと思います。

記

1 パッケージの内容




(1) 【講義】GIGA スクール構想とは (約25分)

GIGA スクール構想全体像についての基本的な概要や学校や授業にもたらす変化、学校は何から始めればよいかを①～④の構成で解説しています。

- ① GIGA スクール構想とは
- ② 1人1台端末でできること
- ③ クラウド環境とは
- ④ まとめ(動画等の紹介)

(↓研修スライドの一部)

GIGAスクール構想の実現とは



- ・ 1人1台学習者用端末の整備 
- ・ 高速大容量通信環境の整備 
- ・ クラウドの活用推進 

ステップ0: 教科の学びに限らず、SHRや学級活動等、子どもたちが端末に触れ、活用する機会を設定し、ICTを生活に生かす場面を体験するステップ。

ちょっと使いを多くの機会で

- 毎日の振り返り
- 写真や図を使ってのコミュニケーション
- 計画・目標の設定や管理
- アンケート
- 授業の振り返りや感想
- 学級日誌
- 調べもの
- 係の仕事でのポスター作成

「クラウド環境」とは
インターネット上にデータとアプリケーションの保存空間を提供するサービスのことです。

<p>パソコンだけの環境</p>  <p>ファイル等は個別の端末に保存されていて、基本的にその端末上で閲覧・編集ができます。</p>	<p>「クラウド」環境</p>  <p>ファイル等はクラウド上にあり、様々な端末で同様に閲覧・編集ができます。</p>
---	--

導入事例：熊本市教育ICT 第三弾 (3分41秒)
<https://www.youtube.com/watch?v=wGHPFRZqtIQ>



3:41

※事前配布資料①(文科省等資料)、事前配布資料②(まなび通信)を研修までに配布し、事前に内容を見ていただくことで、講義時間を短縮しています。

(2)【研修】情報セキュリティ事故対応研修(約 65 分)

情報セキュリティ事故を具体的にイメージしながら事故への対応研修をします。

- ① 講義「個人情報漏えい事故の発生状況について」
- ② ワークⅠ「日常に潜む危険チェック」
- ③ ワークⅡ「情報セキュリティ事故対応①(原因が判明している場合)」
- ④ ワークⅢ「情報セキュリティ事故対応②(原因が判明していない場合)」
- ⑤ まとめ

(↓研修スライドの一部)

学校が管理する個人情報

<氏名により管理されているもの>

- ・学籍関係(指導要録、進学先資料、卒業証書関係台帳等)
- ・教務関係(指導要録、家庭環境調査票、成績考査に関する資料、健康診断票等)
- ・職員関係(職員名簿、履歴書、出勤簿、健康診断票、勤務 評定等)
- ・その他 (同窓会名簿、児童生徒の答案、作文など)

<時系列により管理されているもの>

- ・学校日誌、保健日誌、学校医執務記録簿、教育相談日誌、職員会議録、事故等報告書

※「情報セキュリティ」研修資料(内部関係用バージョン) (岡山県教育センター)

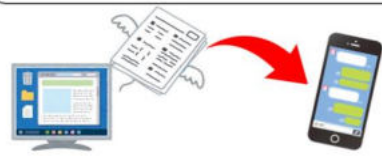
<ワークシートⅠ>日常に潜む危険チェックシート「学期末の職員室」



※岡山県教育センター(職員室)

イベント①：未実施のテストや成績情報が生徒間に出回る

生徒から、担任に「A先生が作ったテスト問題が生徒同士のスマートフォンでやり取りされている」と連絡が入った。
※デジタルデータで流出しているようである。



40

「GIGAスクール構想」によって情報セキュリティはどう変わるか?

1人1台配備される端末には以下のような設定が必要

- ・端末制御などのポリシー設定
- ・端末が利用するアプリケーションの配信設定
- ・接続先ネットワークの制御
- ・紛失・盗難時の制御設定

※参考：「GIGAスクール構想の実現 経産省発表(伊賀市用)コンピュータの標準仕様書」

設定の検討、実施は市教委や専門業者等が行うが、学校・教職員も設定内容を知り、児童生徒の指導へ活用することが大事!!

クラウド環境等の活用により

- 物理的・直接的な情報漏洩(例:セキュリティ事故対応①) 減少
- クラウド侵入による情報漏洩(例:セキュリティ事故対応②) 増加

41

2 パッケージに含まれる資料

○研修用パワーポイント

⇒【講義】と【研修】のスライドです。スライドの解説ノートも入っています。

○ワークシート

⇒【研修】で使用するワークシートと、解答が入っています。

○時間配分

⇒【講義】・【研修】の時間配分の例が入っています。

○事前配布資料①(文科省等資料)

⇒文部科学省と ISEN(教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会)が作成した資料です。研修用パワーポイント内でも、この資料を使っています。

○事前配布資料②(まなび通信)

⇒中丹教育局が作成した GIGA スクール構想に関するまなび通信です。

3 本パッケージの進め方

【講義】と【研修】を合わせて約1時間 30 分の構成となっていますが、各校の状況に合わせて、必要な部分のみを取り上げて活用することも可能です。ワークシートは、記入用と解説用に分かれています。研修では、まず各自で考えて記入した後、小グループや全体で発表や協議の時間を取ってください。そこで、先生方の新たな「気づき」を共有していただくことが重要です。